

創立20周年記念事業始まる!

第20回マスコミ・ソフィア会総会開催

特別講演会「世界が注目する日本のアニメーション」

2007年5月12日(土) 午後12時半開会

東京千代田区内幸町「日本プレスセンター」で開催!現役学生の皆さん歓迎!

マスコミ・ソフィア会は、今年創立20周年を迎え、第20回総会と20周年記念事業の一つ、特別講演会「世界が注目する日本のアニメーション」を下記の日程で同日に開催します。会員の皆様、お誘いあわせの上多数のご参加をお待ちしています。

日 時：2007年5月12日(土) 12:30	総会開会	13:20	終了
場 所：東京千代田区内幸町「日本プレスセンター」10Fホール		13:30	アニメ講演会 開場
日 程：12:30	総会の部 会長挨拶、議事		整理券：一般2,000円、学生1,000円
	13:00 コムソフィア賞授賞式	14:00	アニメ講演会 開会
	13:10 コムソフィア賞受賞者挨拶	16:30	閉会

第17回

コムソフィア賞に安藤優子さん!

(フリージャーナリスト)

コムソフィア賞選考委員会は、第17回コムソフィア賞を、フリージャーナリストの安藤優子さん(上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科在学中)に贈ることを決定しました。

上記の日程をご覧になって出欠をFAXでお知らせください。(○を付けてください)

▶▶▶ 第20回総会に 出席 欠席

▶▶▶ アニメ講演会に 出席 欠席

住所

氏名

(年 学部 学科卒)

送り先/FAX番号:03-5684-6170

第17回コムソフィア賞
受賞者

コムソフィア賞

フリージャーナリスト **安藤優子氏**
(上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科在学中)



報道の現場には、本来男女の差があるはずもない。安藤優子氏は、報道局の裏支えがあるとはいえ、テレビ報道でフリーの女性ジャーナリストとして、局付キャスターや局付アナウンサーと勘違いされるほど20年以上にわたってキャスターを務めてきた。わが国のテレビ報道現場では、稀有な存在であり並大抵の努力ではない。常にニュースとは何かを思考し、従来のニュース報道にない新しい視点を開拓してきた。ジャーナリストとして、毎日を「今日が最後」と思って最善を尽くす姿は貴重である。

<経歴> 1958年千葉県市川市生まれ。1974年都立日比谷高校入学在学中に米国留学。オークランドカレッジを経て帰国後、上智大学外国語学部で1977年発足の比較文学科入学、在学中アルバイトでTBSやテレビ朝日のリポーターに従事。1985年10月から87年3月までテレビ朝日系「ニュースステーション」でサブキャスター。87年10月から94年3月までフジテレビ系「FNNスーパータイム」、同4月から2000年3月まで同局系「ニュースJAPAN FNN」で本格的キャスターに成長。同年4月から同局系「FNNスーパーニュース」でメインキャスターを務め現在に至っている。

マスコミ・ソフィア会とは――

マスコミ・ソフィア会は、上智大学卒業生でマスコミ界に働くものを中心に、相互の親睦と交流をはかり、更に研鑽の場として、母校の発展に寄与しようという目的で、1988年4月に発足しました。会員は、現在1,000名余。現役学生諸君の準会員の制度ももうけています。年一回東京で総会を開催するほか、大阪、仙台、広島、

福岡など全国各地で交流会を行っています。会報「コムソフィア」を通算53号まで発行しています。また「コムソフィア賞」を制定しました(詳細は下記をご覧ください)。また、学生のための「就職相談会」を開催するなど後輩の指導にも力を入れています。

コムソフィア賞17年の歩み

「コムソフィア賞」は、上智大学の関係者で優れた仕事をした方に、毎年贈っています。これまでに、江畑謙介氏(1973理機)、読売新聞社社友の故山崎英祐氏(1937専新)、アンコール遺跡の調査研究保存に尽くされた上智大学外国語学部教授の石澤良昭氏(1961外仏)、伝統芸能の歌舞伎を世界に紹介している中村又蔵氏(1957文新)と、琵琶湖の水を守る環境生活協同組合を創設された藤井絢子氏(1969文史)、海外青年協力隊員としてアフリカに赴き、酋長に任命されるなど国際貢献に尽力された竹井清氏(1971外西)、時事通信社社友の塚原嘉平治氏(1941専新)、困難な状況の下で阪神大震災の報道に当たった、神戸新聞社社会部次長の清水信一氏(1971文新)、入社以来36年間、社会部記者として優れた企画取材をされた共同通信社編集委員兼論説委員の横川和夫氏(1960文新)、有機農産物宅配システムの仕事と市民運動を続ける「大地の会」会長の藤田和芳氏(1970法法)、タレントで国際的にも多方面で活躍しておられるマリ・クリスティーン氏(1979国際比文)、オペラを通じて国際的な文化活動を行って、若いオペラ歌手育成に努められた早川正一氏(1950専新)、時代小説の作家諸田玲子氏(1976文英)、ボランティア活動に努めた「スペシャルオリンピックス日本」代表者細川佳代子氏(1966文英)、青森県で「ジャズで村おこし」に力を尽くされた鳴海廣氏(1959文新)、WFPで18年間アフリカ各地で活

動を続けたWFP日本事務所長 松村裕幸氏(45外ポ)、国際的に通用するNGO「ピースウインズ」を立ち上げたNGOピースウインズ・ジャパン代表大西健丞氏(H3文新)、ガンと戦いながら多くの優れた経済レポートを発表し続けた故糸瀬茂氏(1977外英)、若者の薬物汚染と命がけで闘っている横浜市立戸塚高校定時制教諭 水谷修氏(1982文哲)、日本の不良債権とヤクザの関係に鋭い論陣を張っている「Forbes誌アジア太平洋支局長」のベンジャミン・フルフォード氏(59比比)、戦後、戦争孤児のために仙台に光が丘天使園を創設以来、児童福祉に力をつくされた社会福祉法人ラサール会理事長の石井恭一氏(1948経経)、「男はつらいよ」など山田洋次監督のシナリオを担当して映画文化の向上につくされた、元松竹監督で脚本家の朝間義隆氏(1965外英)に贈りました。2005年の第15回「コムソフィア賞」は、専修大学経済学部助教授 佐島直子氏(1978法法)で、安全保障に関わる国際情勢、法制度、経済、戦史などを網羅的に概説する日本で初めての『現代安全保障辞典』(2004年6月 信山社刊)を編集代表として刊行したバイオニア的業績が評価されました。2006年の第16回「コムソフィア賞」は、神戸・鷹取教会司祭/たかとりコミュニティセンター理事長の神田裕氏(1987年神学部卒)に、「コムソフィア特別賞」を、東京情報大学環境情報学教授のケビン・ショート氏(Kevin Short)(国際部)に贈りました。